



かしま友愛

第35号

2018年6月22日

社会福祉法人

加島友愛会事務局

大阪市淀川区加島1-60-36

☎ 06-6101-6601

二〇一七年度を振り返って

第一期レインボープランとして立ち上げた介護付き有料老人ホーム「リュミエール加島」は二〇一七年度平均入居率九二・六%、平均居室稼働率九六・五%でした。前年度に引き続き、安定した運営をおこなうことができています。

豊中市における障害者就労継続支援A型事業所「ル・プラス」も定員二十名のところ平均利用者数は二七・三人と定員を大きく上回り、利用者平均賃金も十二万一千円で高い実績を上げています。

第二期レインボープランの一つとして、市



島・三津屋地域から淀川区役所及び

明るい話題としては、働きながら介護福祉士の取得をめざして専門学校に通うベトナム人留学生二名の受け入れをしました。住まいは加島友愛会の職員寮として十三に借りてお

り、勉学と仕事を両立させています。二人とも積極的に介護技術を吸収しようとする姿勢は職場でも高い評価を受けています。この四月からはさ



JICAヨルダン訪日団との記念撮影（中央は理事長と本人）

インボープランを具現化させる一年となります。まだ道半ばですが、地域社会に貢献する事業の立案・運営を着実に進めていきたいと考えています。引き続き、ご支援の程、よろしくお願ひいたします。

2017年度の詳細は加島友愛会HPより2017年度事業報告をご確認ください。<http://www.kashima-yuai.or.jp/>



専務理事 酒井 大介

老人センター跡地利用についてサービス付き高齢者向け住宅、外国人実習生職員寮の建設方針を固め、設計事務所と協議ならびに諸官庁との申請協議を進めました。

既存の高齢・障害福祉事業では、総じて安定した事業運営をおこなうことができました。しかしながら、職員状況は慢性的不足状態にあり、人材確保に向けてあらゆるアプローチをしているものの思うような結果に結びついていません。また、人材育成の部分でも改めて課題を痛感した一年となりました。

明るい話題としては、働きながら介護福祉士の取得をめざして専門学校に通うベトナム人留学生二名の受け入れをしました。住まいは加島友愛会の職員寮として十三に借りており、勉学と仕事を両立させています。二人とも積極的に介護技術を吸収しようとする姿勢は職場でも高い評価を受けています。この四月からはさらに二名のベトナム人留学生を受け入れしており、今後も取り組みを進めていきたいと考えています。



JICAヨルダン訪日団との記念撮影（中央は理事長と本人）

A（国際協力機構）の短期専門家として、ヨルダンに職員を派遣し、就労支援の開発に協力をしてきました。十月にはヨルダン研修生を日本に招き入れ、就労支援に関する研修を実施しました。二月にはマレーシア研修生に対し同様の研修を実施しました。

二〇一八年度は第二期レインボープランを具現化させる一年となります。まだ道半ばですが、地域社会に貢献する事業の立案・運営を着実に進めていきたいと考えています。引き続き、ご支援の程、よろしくお願ひいたします。

法人研修委員会活動報告

法人内における職員研修の企画・実施をおこなう機関として二〇一七年度より法人研修委員会が発足されました。

委員会のメンバーは各施設から参画した職員十名で、若手の現場職員から主任や管理職など幅広いメンバー構成で活動しています。

法人研修委員会の前身として前年度に職員研修検討委員会が設置されました。

各施設における外部への研修参加状況や、施設内でおこなう内部研修のあり方など意見交換をしてみると、同じ法人内にある施設でも状況や考え方方が様々だということがわかりました。そのような現状を含め、法人全体における研修制度の構築をどのように進めていくか議論を重ねました。まず研修制度の必要性を学ぶところから始め、職員研修は人材育成が柱であることと、職員の成長と組織の発展をめざすものである、ということを共有認識し、職員研修実施要綱を作成しました。

二〇一七年度は作成した職員研修実施要綱に基づいて本格的に始動しました。

年間研修計画を立て、委員会メンバーを中心におこなう充実や、非常勤職員を含むたくさんの人が学ぶ機会をつくるにはどうしたらいい

2017年度実施 法人研修

7月	中堅職員研修
8月	リスクマネジメント研修
9月	チームリーダー研修
	メンタルヘルス研修
11月	人権研修
12月	管理職研修（第1回）
	若手職員研修
3月	労務管理研修
	管理職研修（第2回）

のかと模索しました。研修内容をどうするのかはもちろんのこと、時間帯や対象者を決めるだけでも苦慮しました。

初めての試みでは在籍三年～五年目の職員を対象にした「若手職員研修」です。どのような研修にするかずいぶん悩みま

したが、職員間の交流を目的にグループ形式でおこないました。初めに自己紹介をして、次に事業所ごとに前に出て業務内容や職場の良いところの紹介をしました。そしてグループワークでは仕事のやりがいや困っていること、今後やってみたいことや理想の職員像についてなどを話し合い、

たとの感想がありました。

他にも「中堅職員研修」「チームリーダー研修」「労務管理研修」を実施し、全職員を対象にした研修としては、「リスクマネジメント研修」「メンタルヘルス研修」「人権研修」を実施しました。どの研修もたくさんの職員の参加がありました。

いずれの研修も参加者には終了後に「研修で学んだこと」「今後の業務にどう活かしていくか」といった項目について研修報告書を提出してもらいました。研修によつては、すぐに業務に活かせるものもあれば、後々に成果が出てくるものもあり、また受けける人の姿勢やその時の状況によって違います。

研修委員としても課題はたくさんあります。少しずつでも職員個々の成長と法人の発展に繋がるよう今後も活動していきます。（かしま障害者センター 胡麻）



立案し、実施した内容を後日報告会として各自プレゼンテーションをおこなうといった内容でした。

研修委員としては研修自体の進行やスケジュールの把握が不十分で、多くの課題が残りましたが、

課長職の皆さんには限られた中で工夫をして取り組み、意見交換する中で互いに視野や見識が広がったと感じました。研修内容をどうするのかはもちろんのこと、時間帯や対象者を決めるだけでも苦慮しました。

初めての試みでは在籍三年～五年目の職員を対象にした「若手職員研修」です。どのような研修にするかずいぶん悩みました。研修内容をどうするのかはもちろんのこと、時間帯や対象者を決めるだけでも苦慮しました。

初めての試みでは在籍三年～五年目の職員を対象にした「若手職員研修」です。どのような研修にするかずいぶん悩みました。研修内容をどうするのかはもちろんのこと、時間帯や対象者を決めるだけでも苦慮しました。

新人

職員

紹介



この春から各施設の新しいポジションで
活躍するメンバーを紹介します。



ヘルパー
ステーショントレフル

いとう やすみ
伊藤 靖美

ヘルパーステーショントレフルで3月から勤務しています伊藤靖美です。早いもので、トレフルで働きだしてあっという間に3ヶ月が過ぎました。これまで主に高齢者の介護を経験してきましたが、今回、障害部門の介護に携わることになりました。不慣れな点が多く、いろいろと細かいところから教わりながら、周りの職員の方々に支えられ過ごす毎日です。明るい職場で楽しく過ごせていますが、その中でも特に心がけたいことは、周りの職員の皆さんとしっかりと連携を取ることです。頑張っていきたいと思いますので、これからもよろしくお願ひいたします。



むつみ

いしわたり じゅんぺい
石渡 純平

1月の半ばごろから、むつみで勤務させていたただくことになりました。まだ不慣れな部分もあり、周りの人たちに助けてもらいながら仕事をしています。経験を積んで力をつけていき、周りの人たちの一助となれるよう仕事に邁進していきたいです。

利用者の方々と一緒に楽しい時間を過ごし、一緒に成長していくたら嬉しいです。4月からは担当を持つことにもなり、少しでも利用者の方々の力になれたらと思います。

加島友愛会の理念にある「人権」を大事にし、利用者の一人一人の「個性」と向き合うことができるような支援者になりたいと思っています。向上心を持って、より良い支援ができるように日々精進していきたいです。



アンダンテ加島

まつもと よしこ
松本 佳子

今年度より、アンダンテ加島の看護師として働いています。

以前は、病院や高齢者のデイサービスに勤務しており、障害福祉の分野で働くことは初めてです。

アンダンテ加島の利用者の方と過ごす毎日は楽しく、それぞれの個性や障害特性については新たな発見の日々です。まだまだわからないことがたくさんありますが、先輩の看護師や職員にアドバイスを貰いながら、少しずつ利用者の方の理解を深めていきたいと思います。また、アンダンテ加島は年齢層が幅広いものの、重度高齢化となりつつあるため、今までの経験を活かし、利用者の方に安心して、笑顔で健康に過ごしていただけるようにしていきたいと思います。



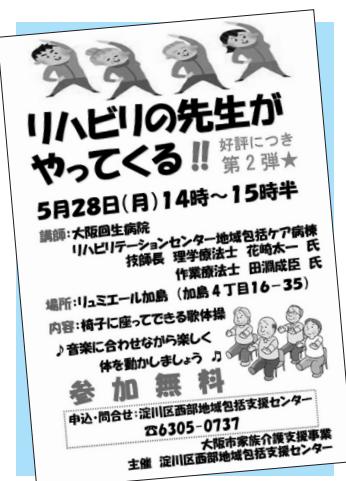
リュミエール加島

よしかわ かずひろ
吉川 和宏

リュミエール加島で働き出して1ヶ月が経ち、少しずつ施設内の仕事を憶えつつあります。今までの介護士としての経験を活かせる所や新しく勉強させてもらっている所など様々ですが、この先、この人に来てもらえて良かったと利用者の方々はもちろんのこと、職員の方にも思ってもらえる様に頑張っていきたいと思います。自分の得意分野である話術や歌などでたくさんの利用者の方を笑顔にできれば嬉しい限りです。介護士としてのスキルも高めながら、明るい職場づくりに貢献していくたらと思います。これからもよろしくお願ひします。

加寿苑

淀川区西部地域包括支援センターを紹介



淀川区西部地域包括支援センターでは、社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員がチームで、加島・三津屋地域にお住まいの高齢者の総合相談、権利擁護、ケアマネージャーの支援、介護予防ケアマネジメントを行っています。『困った時は相談できる身近なところ』と思っていただけるよう、地域住民や関係機関との顔のみえる関係作りをめざしています。

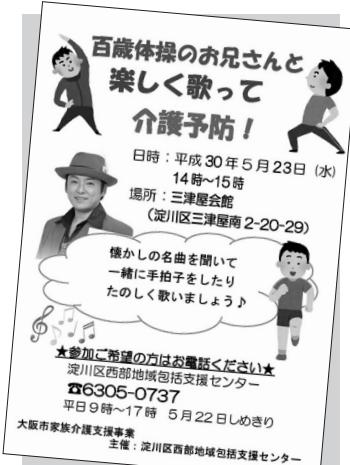
相談の内容では介護サービスに関する事が一番多いです。最近では「介護予防」や「認知症予防」についての関心が高くなってきています。昨年、当センター主催で家族介護支援事業として、リハビリの専門職を講師としてお招きし、

「音楽と健康」と題して、キーボードとギターの生演奏に合わせてイスに座つてできる体操をおこなう介護予防教室を開催させていただきました。家族介護者・地域住民からは、「楽しく身体を動かせてよかったです。」「音楽に合わせて歌を歌つてリフレッシュできた。」など大変好評でした。

今年度もさらに内容を充実させ「リハビリの先生がやってくる!!」百歳体操のお兄さんと楽しく歌つて介護予防!」を企画しました。

当センターでは、今後も地域住民が住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らしこどることができるよう活動を続けていきたいと考えています。

(仲里)



お花見の仕上げは夜桜会

リュミエール加島では春になると隣接する加島西公園で毎年恒例のお花見をおこないます。こちらの公園には加島では指折りの立派な桜の木が植わっています。今年も三月末から四月にかけての一週間、お花見会をおこないました。車椅子の方もスロープを使って公園に入ることができますので、一人でも多くの方に春



の季節を感じていただきたいと考えています。
お花見の仕上げとして四月八日、夕食後に夜桜会を開催しました。夜桜がライトアップされて本当に幻想的でした。飲み物を片手に昼間とは違った雰囲気となります。当日は普段からお世話になっている加島浜之町会、西之町会の方々にもご参加いただき、一緒に楽しんでいただきました。リュミエール加島ではこれらも趣向を凝らしたイベントに取り組んでまいります。

(市坪)



リュミエール加島

加島希望の家

リハビリを取り入れた活動をおこなっています



希望の家でおこなっているリハビリ活動の種類は大きく3つに分けられます。

①講師を招いての音楽療法

音楽療法では、先生の指導のもと楽器を鳴らしたり、リズムに合わせて体を動かしたりしています。長年続けていることもあります。音楽を聞くと自然と体を動かす利用者さんも多く、楽しみの時間となっています。

③個別でのストレッチ運動

個別での活動では、理学療法士にアドバイスをいただきながら個々人に応じたストレッチや簡単な運動をおこなっています。初めは緊張気味でしたが、徐々に慣れてこれら、今では利用者さん自身で体を動かされる場面も増えました。

②小グループでのストレッチや体操などをおこなう活動

グループでの活動では、音楽に合わせて体操をしたり、ボールを使って体を大きく動かしたり、マットや壁を使ってストレッチをおこなったりしています。

グループでおこなうことで、利用者さん同士がお互いに刺激となり、普段あまり動かしにくい箇所も、大きく動かすことができる方もおられます。



利用者さんにとって楽しみやリフレッシュ・健康の維持に繋がるように色々な工夫をしながら取り組んでいます。より良い活動となるよう、今後も続けていきたいと思います。（酒井）

中庭でBBQパーティー

アンダンテ加島



集合時間より早めに来られる利用の方があり、始まる前からすごく楽しみにされました。そのため、利用者の方にも野菜を切る・お肉を焼く等の行程をしていただき、普段はできないことを経験していただきました。

アンダンテ加島の毎月第一土曜日は料理余暇があります。普段であれば、ユニットの食堂で簡単なケーキ等を作るのを考えた結果、五月五日の料理余暇は、中庭でBBQパーティーを企画しました。当日は特別にお肉を食べる為、施設での昼食は食べずに実施しました。

トータルで運動をしている時間よりも食べている時間が長かったのですが、利用者の方もお腹がいっぱいになり、満足されている様子がうかがえました。（山口）

ちてしまつというハプニングもありましたが、次から次へと焼けるお肉・野菜・やきそばにお箸も進まれていました。当日は天候にも恵まれ、短い時間ではありましたが、スタッフと一緒にキヤッヂボーラーやバドミントンをして体を動かしました。運動後には、おやつとしてたまごせんべいにも挑戦しました。

かしま障害者センター

地域や関係機関と連携を深め ル・プラス



▲クリーニング作業の様子

ル・プラスは加島友愛会の中で初めて加島を離れ、豊中にできた事業所です。豊中の就労継続支援A型の事業所として開所して本年の5月で5年が経ちました。利用者の人数も初年度は8人から始まり年々増えています。本年度は38人と人数もかなり増えました。

利用者と職員みんなの頑張りによって、月の売り上げも200万円から1100万円へ大きく増えています。

これまで地域や関係機関との連携の中で、ル・プラスでは働くことを経験するための体験実習などを受け入れてきました。昨年度は生活困窮者自立支援法に基づく就労訓練事業で認定を受け、1名の受け入れをしました。

今年度も地域や関係機関との連携を深め、働く場としての実習などの機会の提供や生活困窮者の訓練現場だけではなく、自分たちにできることは、いろいろやっていきたいと思っています。

(山下)

▶ 日帰りバス旅行
ブルーメの丘にて



新しい取り組み

むつみ

▶ エアロビクスに取り組む
利用者



生活介護では、今年度からエアロビクスを取り入れることになりました。月に1回、講師の方に来ていただき、音楽に合わせて体を動かします。皆さん音楽はとても好きなので楽しそうに参加していました。新しい利用者さんも増えました。一泊旅行などの行事や、日々の活動の中にいろいろな「楽しみ」を感じられるように支援していきます。

就労継続B型では、リネンや受注作業、館内清掃の他にも、昨年度はJRの駅の遊歩道の除草作業など、外部の作業にも取り組みました。暑くても寒くとも一生懸命に頑張りました。今年度は新たな作業に取り組むことを考えています。充実した日々を送れるように、やりがいのある作業を提供します。

(谷口)

今年の日帰りバス旅行も滋賀県へ

“COCOLO”相談支援センター

4月21日(土)に毎年恒例の日帰りバス旅行を行ってきました。行き先は『ブルーメの丘』と『信長の館』となり、2年連続で滋賀県へ向かいました。

ブルーメの丘では旬菜バイキングでお腹を満たした後、草木染め体験でオリジナルハンカチを作成したり、自由時間に動物と触れ合い、丘一面のチューリップを眺めたりと思い思いの楽しみ方をされていました。

信長の館では安土城が出来上がるまでを迫力ある映像で見ることができ、安土城の豪華絢爛さを体験することができました。

年に1度の日帰り旅行を楽しみにされている利用者さんも多く、早くも「来年はどこに行くんだろう」という声が挙がっています。(小嶋)

これからも働き続けることを応援します —



Link

Linkは開設から12年目に入りました。昨年度は14名の利用者が就職され、これまで149名の就労を

実現することができました。これまで就職した方のフォローアップを実施してきていますが、今年4月から新たに就労定着支援事業が創設されることになり、Linkでもこの事業の利用者として32名が利用を開始しています。サービス内容としては仕事に関することから生活面まで、就労を継続する中で問題となってくることに対して、関係機関と協力しながらサポートをおこなうものです。対象期間は就職後3年間と決まっていますが、Linkは開設当初から長く働き続けることができるようサポートを続けてきているので、このサービス利用後も今までと変わらず支援していきます。

今後も定期的に開催しているOB会やLinkカフェで就職後の元気な姿を見せてくれるOB利用者に会えるのが楽しみです。

(岩本)



▶タ飯づ
挑戦
くりは

生活スタイルが変化するわけではありません。食事や入浴、掃除・洗濯といった生活スケジュールは毎日続いていきます。こうした中で、自立度の高い人は積極的に、一方で料理や掃除などその大半で介助を要する人は自分でできる部分や得意なことに集中して取り組むことで家事を分担し、生活スキルの向上を図っています。

訓練や指導的な側面ばかりにとらわれず、楽しんで取り組めるようコミュニケーションを重視して支援にあたっています。

▲掃除機で、すみずみまでキレイに



コミュニケーション重視で支援 —

地域生活支援部

障害者自立支援法の施行から現在の障害者総合支援法に至るまで、いくつかの制度が見直され、

グループホームもその都度呼び名や形式を変えてきました。一時期はケアホーム（共同生活介護）の名称もありましたが現在ではグループホーム（共同生活援助）に統一されています。グループホームでは生活スキルの獲得や向上を図ることも支援の柱として位置づけられています。

制度や形式のあり方が変わっても、ホームで生活されている人たちのニーズや

❖ 後援会の活動にご協力ください ❖

後援会にご加入いただき、ありがとうございます。紙面をお借りしてあつく御礼申し上げます。会費の2017年度の納入状況をお知らせします。昨年度と比較しますと、個人会員では加入口数が4口減で、団体会員では加入口数1口増の納付額が3,000円減となりましたが、昨年度から引き続き多数の会員さんからご支援をいただきました。

後援会加入状況

団体	14団体	18口	180,000円	
個人	190人	234口	702,000円	
				合計 882,000円

加島友愛会が運営する各施設で使用する備品等として、高齢者用リクライニング車いす、利用者用マットレス、利用者用ソファ、利用者用テレビ（40型）、運動用ルームランナー、乾燥機（4kg）、キングサイズテント一式、更衣室空調機取付、防犯カメラなど1,193,275円を各施設に支援しました。施設利用者及びご家族の方々の利用に供するための支援を、今後もおこなう予定です。引き続き、加島友愛会後援会をよろしくお願いします。



これからも日々の業務の中で、どの様に支援すれば良いのか悩むことが多いと思いませんが、入居者の方が楽しむ安全に暮らせるとお手伝いできればと思います。

私はリュミエール加島に勤め、もうすぐ一年になります。これまで特養での経験しかなく、有料老人ホームは初めての職場で戸惑うことも多々ありました。が、日々の生活の中で入居者の方と接し、お話しすることや笑顔から元気をいただきました。そして、この一年、お花見や夏祭り、敬老会、クリスマス会などに参加し、職員がプレゼントを手作りしたり、一緒に歌ったり、踊ったりと楽しい時間を過ごしました。

◇
入居者の方と楽しく過ごせることが、私がこの仕事をしていて良かったと思えるところです。

リュミエール加島

ケアワーカー 森村てるみ
もりむら
てるみ

仕事のやりがい

求人情報

私たちと一緒に働きませんか？



職種

高齢部門：ケアワーカー

障害部門：生活支援員・職業指導員・就労支援員

施設・事業種別

① 夜勤を伴う交代制勤務

- 特別養護老人ホーム「加寿苑」
- 介護付有料老人ホーム「リュミエール加島」
- アンダンテ加島（施設入所支援・生活介護）
- 加島苑（グループホーム）

② 日中支援事業

- Link（就労移行・就労継続B・自立訓練）
- 加島希望の家（生活介護）
- ヘルパーステーショントレフル（訪問介護・居宅介護・重度訪問・移動支援）

勤務形態

① 早出： 7：30～16：00

日勤： 9：00～17：30

遅出： 13：00～21：30

夜勤： 16：30～9：30

15：30～10：00（グループホーム）

ほか、シフトによる（7.5時間勤務）

② 9：00～17：15 （7.5時間勤務）

休日

① シフトにより年間98日

② 事業所により異なるが、日・祝祭日を含む年間98日

※ 他に夏期特別休暇3日（①②共通）

基本給

初任給	専門学校・短大卒	178,200円
	大学卒	183,000円
※大学卒の初任給は福祉系の資格（初任者研修等）必須		
※前職加算あり		

諸手当

業務手当	①基本給の5パーセント ②基本給の4パーセント
特別手当	月額 23,000円
通勤手当	月額上限 30,000円
住宅手当	月額上限 25,000円
資格手当	月額 5,000円～22,000円
扶養手当	あり
夜勤手当	1回 4,000円

賞与

2017年実績 4.25ヶ月

昇給

年1回4月に実施予定

社会保険等

厚生年金・雇用保険・労災保険・健康保険
退職金共済